

2019年3月期第2四半期 決算補足説明資料

京浜急行電鉄株式会社（証券コード：9006）

2018年11月7日

<http://www.keikyu.co.jp/>



KEIKYU
京急グループ

- ◆ 不動産事業において分譲マンションの売上計上があったことなどにより増収
- ◆ 前年同期に計上した分譲土地におけるたな卸資産評価損の反動などにより増益

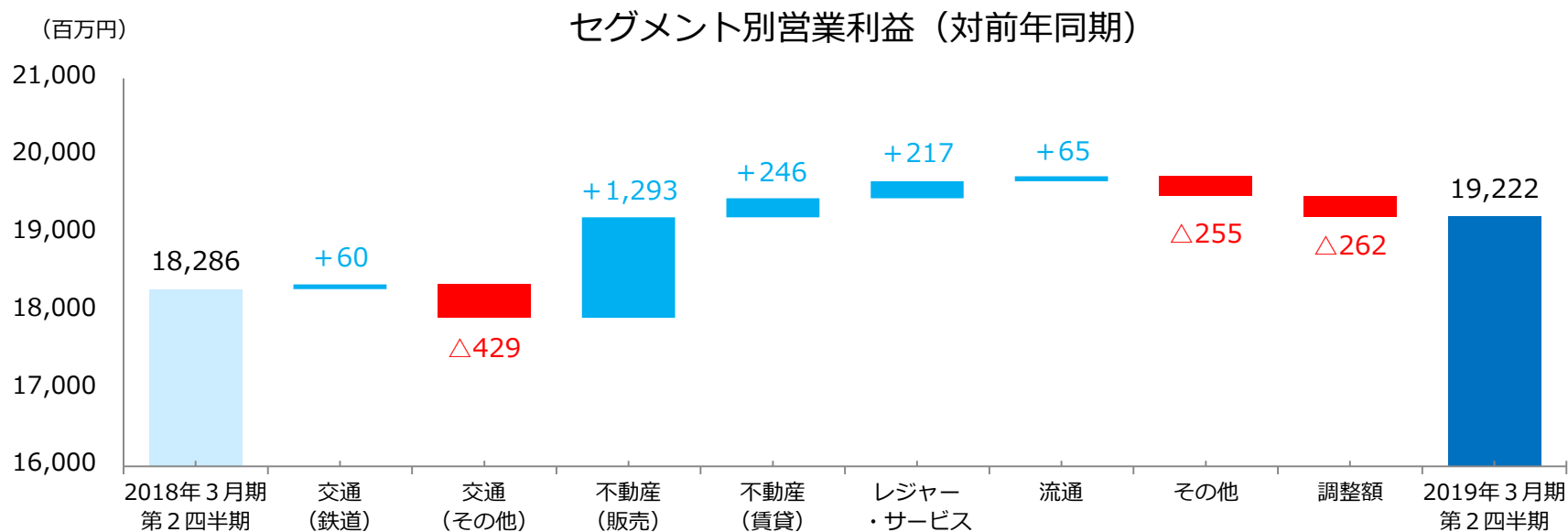
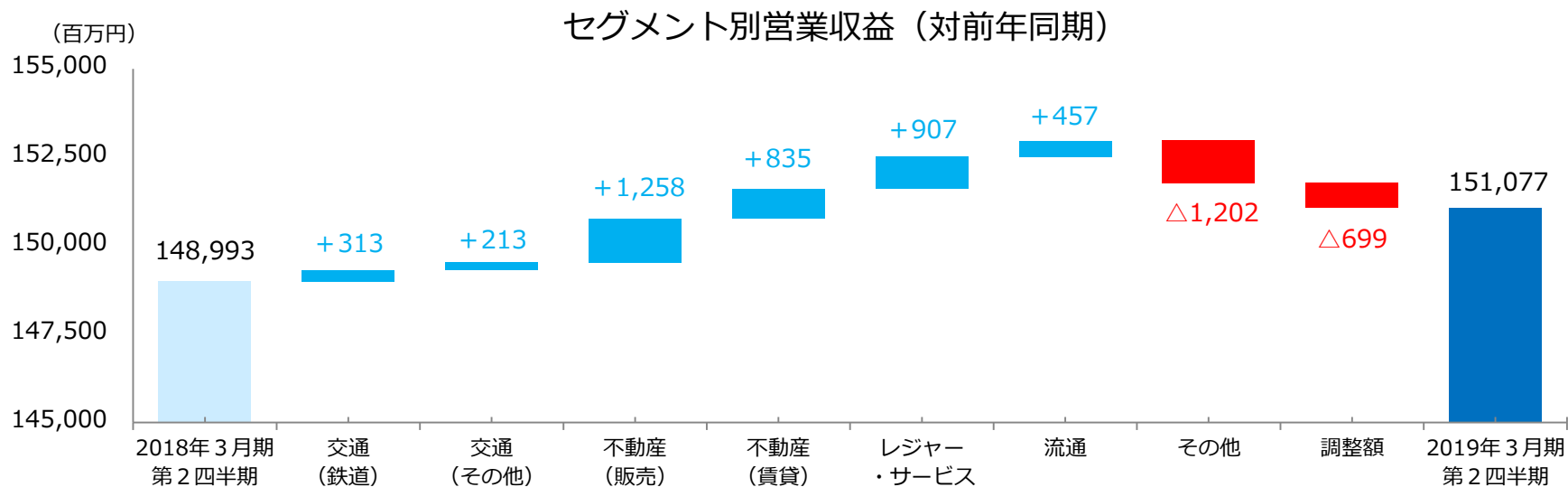
(単位：百万円)

	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減額	増減率(%)
営業収益	148,993	151,077	2,083	1.4
営業利益	18,286	19,222	936	5.1
経常利益	16,961	17,994	1,033	6.1
特別利益	156	1,050	893	570.1
特別損失	156	842	685	437.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	11,207	12,368	1,160	10.4

(単位：百万円)

		2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減額	増減率 (%)
交通事業	営業収益	62,415	62,942	527	0.8
	営業利益	12,591	12,223	△368	△2.9
不動産事業	営業収益	15,737	17,831	2,093	13.3
	営業利益	599	2,139	1,540	256.7
レジャー・サービス事業	営業収益	17,626	18,533	907	5.1
	営業利益	3,301	3,519	217	6.6
流通事業	営業収益	52,493	52,951	457	0.9
	営業利益	1,126	1,192	65	5.9
その他	営業収益	20,397	19,195	△1,202	△5.9
	営業利益	844	588	△255	△30.2
合計	営業収益	168,670	171,454	2,783	1.7
	営業利益	18,463	19,663	1,199	6.5
調整額	営業収益	△19,677	△20,377	△699	—
	営業利益	△177	△440	△262	—
四半期連結 損益計算書計上額	営業収益	148,993	151,077	2,083	1.4
	営業利益	18,286	19,222	936	5.1

(参考) セグメント別営業収益・営業利益の増減



- ◆ 鉄道事業は都心方面および羽田空港の輸送人員の増加などにより増収
- ◆ 動力費・燃料費等営業費の増加などにより減益

(単位：百万円)

	営業収益				営業利益			
	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減額	増減率 (%)	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減額	増減率 (%)
交通事業計	62,415	62,942	527	0.8	12,591	12,223	△368	△2.9
鉄道事業	42,828	43,142	313	0.7	10,736	10,796	60	0.6
バス事業	17,330	17,572	242	1.4	1,840	1,414	△426	△23.2
タクシー事業	2,256	2,227	△29	△1.3	14	11	△2	△19.9

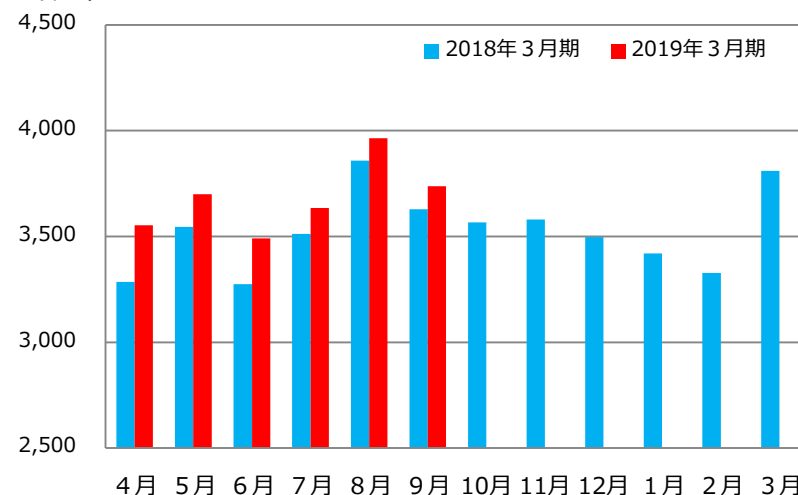
<鉄道事業の輸送人員・旅客運輸収入の内訳>

		輸送人員 (千人)				旅客運輸収入 (百万円)			
		2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減	増減率 (%)	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減額	増減率 (%)
定	期	134,484	136,249	1,765	1.3	15,979	16,174	195	1.2
	期外	106,491	107,567	1,076	1.0	25,119	25,403	284	1.1
合	計	240,975	243,816	2,841	1.2	41,098	41,578	480	1.2

<羽田空港国内線・国際線ターミナル駅合計の輸送人員>

		輸送人員 (千人)			
		2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減	増減率 (%)
定	期	3,530	3,840	310	8.8
	期外	17,574	18,240	666	3.8
合	計	21,104	22,080	976	4.6

羽田空港国内線・国際線ターミナル駅合計の月別輸送人員推移 (千人)



- ◆ 分譲マンションの売上計上および前期に取得した賃貸オフィスビルの通期稼働などにより増収
- ◆ 前年同期に計上したたな卸資産評価損の反動などにより増益

(単位：百万円)

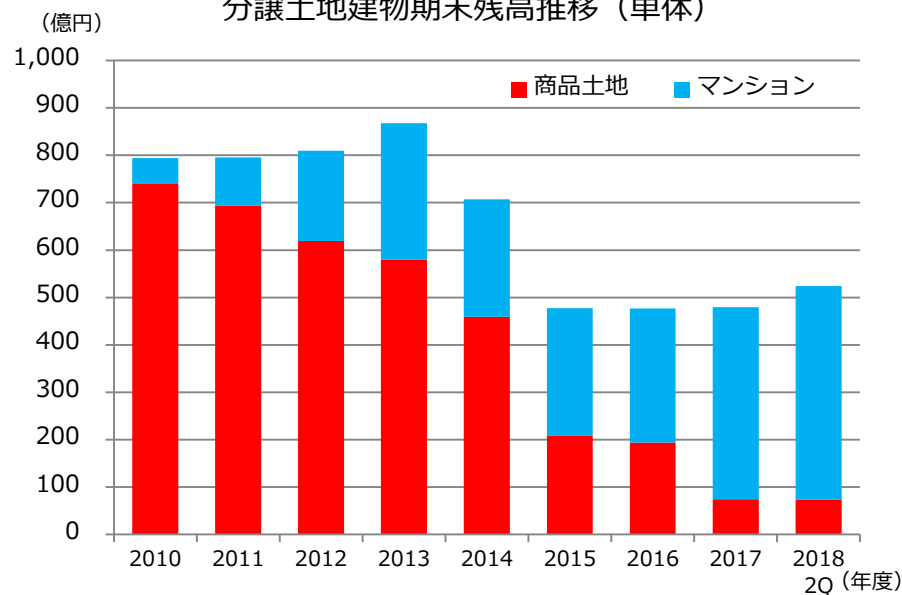
	営業収益				営業利益			
	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減額	増減率 (%)	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減額	増減率 (%)
不動産事業計	15,737	17,831	2,093	13.3	599	2,139	1,540	256.7
不動産販売業	6,312	7,571	1,258	19.9	△2,106	△813	1,293	—
不動産賃貸業	9,424	10,259	835	8.9	2,706	2,952	246	9.1

マンション、宅地・戸建て販売戸数・区画数

(単位：戸・区画)

	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減
マンション分譲	65	306	241
(持分換算後)	30	91	61
宅地・戸建て	47	41	△6

分譲土地建物期末残高推移 (単体)



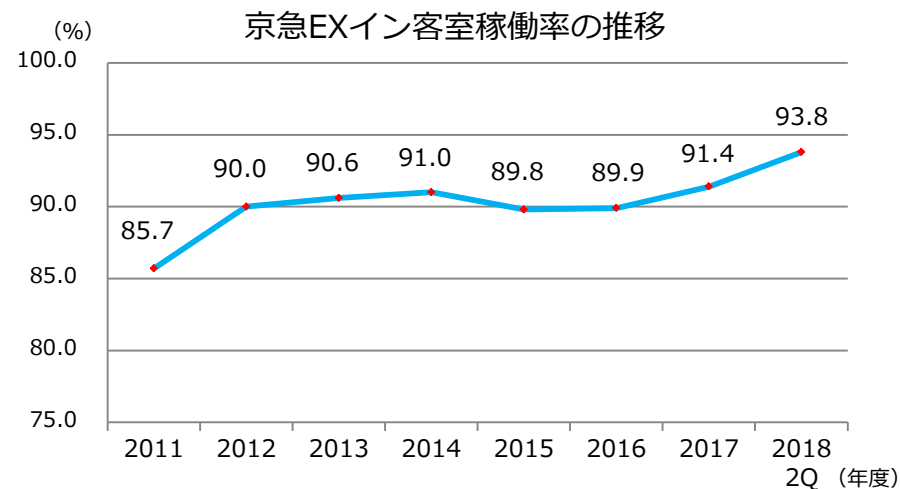
◆ ビジネスホテル業において前期に開業した新館が通期稼働したことおよび各館が好調に推移したことなどにより増収増益

(単位：百万円)

	営業収益				営業利益			
	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減額	増減率 (%)	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減額	増減率 (%)
レジャー・サービス事業計	17,626	18,533	907	5.1	3,301	3,519	217	6.6
ビジネスホテル業	4,642	5,386	744	16.0	1,408	1,507	98	7.0
レジャー関連施設業	6,246	6,400	154	2.5	1,145	1,169	23	2.0
レジャーその他	6,738	6,746	82	0.1	747	842	95	12.8

京急EXイン客室稼働率

	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減
客室稼働率	92.9%	93.8%	0.9pt



- ◆ 流通その他における店舗（ウイング新橋）の耐震補強工事による営業休止等があったものの、物品販売業において(株)セブン-イレブン・ジャパンと提携した店舗が引き続き好調に推移したことなどにより増収増益

(単位：百万円)

	営業収益				営業利益			
	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減額	増減率 (%)	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減額	増減率 (%)
流通事業計	52,493	52,951	457	0.9	1,126	1,192	65	5.9
百貨店業	15,751	15,856	105	0.7	50	△24	△74	—
ストア業	26,472	26,419	△52	△0.2	175	308	132	75.5
物品販売業	8,499	8,990	491	5.8	595	759	163	27.5
流通その他	1,771	1,685	△86	△4.9	304	148	△155	△51.1

- ◆ 京急建設(株)が前年同期に受注した工事の反動などにより減収減益

(単位：百万円)

	営業収益				営業利益			
	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減額	増減率 (%)	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減額	増減率 (%)
その他計	20,397	19,195	△1,202	△5.9	844	588	△255	△30.2

(単位：百万円)

	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減額	増減率(%)
営業利益	18,286	19,222	936	5.1
営業外収益	1,443	1,200	△243	△16.8
受取利息	38	32	△5	△15.7
受取配当金	484	450	△33	△6.9
持分法による投資利益	345	359	14	4.2
その他	575	357	△218	△37.9
営業外費用	2,767	2,427	△339	△12.3
支払利息	2,255	2,237	△18	△0.8
その他	512	190	△321	△62.7
経常利益	16,961	17,994	1,033	6.1
特別利益	156	1,050	893	570.1
工事負担金等受入額	156	470	313	200.2
投資有価証券売却益	—	400	400	—
その他	—	179	179	—
特別損失	156	842	685	437.3
固定資産圧縮損	156	470	313	200.2
投資有価証券評価損	—	313	313	—
その他	—	58	58	—
税金等調整前四半期純利益	16,961	18,203	1,241	7.3

連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

		2018年3月期末	2019年3月期 第2四半期末	増減額
資	流動資産	128,189	142,110	13,920
	現金及び預金	43,862	57,618	13,756
	受取手形及び売掛金	15,303	10,007	△5,295
	分譲土地建物	59,304	64,671	5,367
	固定資産	748,489	753,793	5,304
	有形固定資産	614,968	613,918	△1,050
	投資その他の資産	125,799	132,564	6,764
	投資有価証券	71,370	76,982	5,612
	資産合計	876,679	895,903	19,224
	負債合計	623,314	628,343	5,028
有利子負債残高※	438,576	450,748	12,171	
純資産合計	253,365	267,560	14,195	
負債純資産合計	876,679	895,903	19,224	

※社債、借入金、CPの合計額

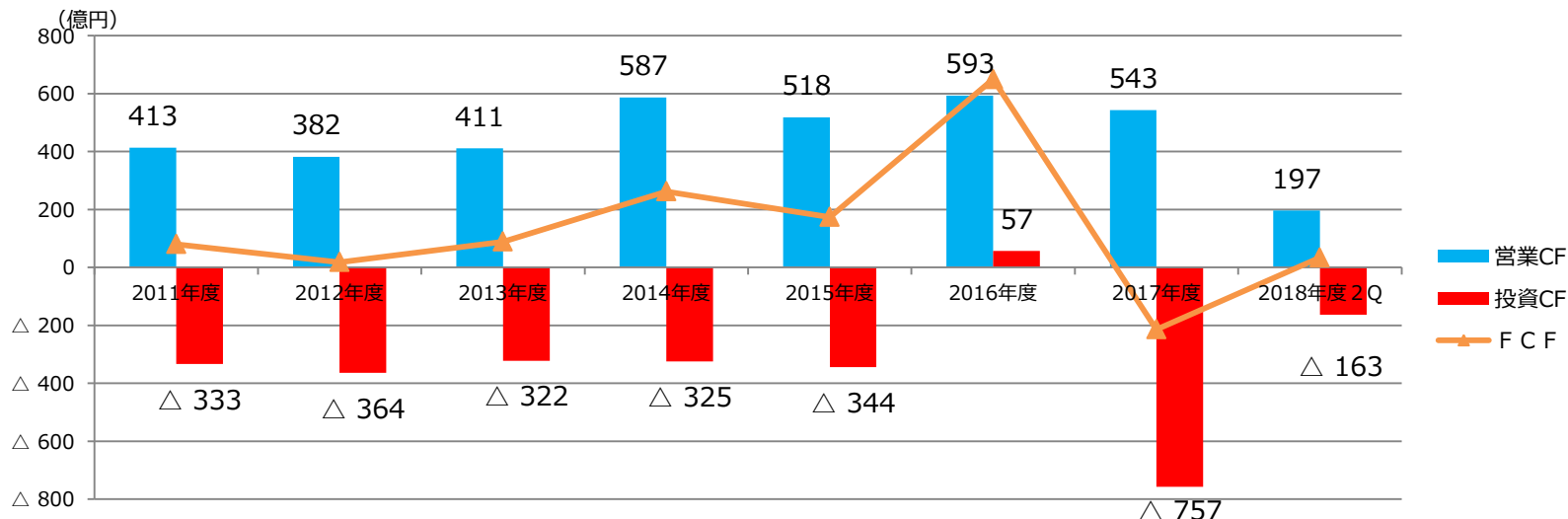
純有利子負債残高	394,714	393,129	△1,584
----------	---------	---------	--------

◆ 前期に成長投資を前倒した反動などにより投資活動によるキャッシュフローの支出が減少

(単位：百万円)

	2018年3月期 第2四半期末	2019年3月期 第2四半期末	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,389	19,704	3,315
投資活動によるキャッシュ・フロー	△35,450	△16,346	19,104
財務活動によるキャッシュ・フロー	22,821	10,408	△12,413
現金及び現金同等物の増減額	3,759	13,766	10,006
現金及び現金同等物の期末残高	47,780	57,478	9,698

【参考】フリーキャッシュフロー（営業CF + 投資CF）の推移



◆ マンション販売が堅調に推移していることなどにより増収増益

（単位：億円）

	2019年3月期 （5月予想）	2019年3月期 （11月予想）	予想との差異	予想との 差異（%）	2018年3月期 （実績）	増減額	増減率 （%）
営業収益	3,370	3,400	30	0.9	3,156	243	7.7
営業利益	360	370	10	2.8	294	75	25.5
経常利益	325	335	10	3.1	272	62	22.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	220	225	5	2.3	161	63	39.3

設備投資額※	740	748	8	1.2	818	△69	△8.5
減価償却費	307	305	△2	△0.9	295	9	3.3

※ 工事負担金等を含んでおります。

（2019年3月期5月予想：96億円、2019年3月期11月予想：97億円）

1株当たり 当期純利益	79.89円	81.70円			58.66円
----------------	--------	--------	--	--	--------

セグメント情報 (業績予想)

(単位：億円)

		2019年3月期 (5月予想)	2019年3月期 (11月予想)	予想との差異	予想との 差異(%)	2018年3月期 (実績)	増減額	増減率 (%)
交 通 事 業	営業収益	1,241	1,242	1	0.1	1,234	7	0.6
	営業利益	190	190	0	0.0	201	△11	△5.9
不 動 産 事 業	営業収益	666	709	43	6.5	470	238	50.7
	営業利益	66	78	12	18.2	△16	94	—
レジャー・サービス事業	営業収益	359	366	7	1.9	355	10	2.8
	営業利益	58	60	2	3.4	56	3	6.9
流 通 事 業	営業収益	1,082	1,076	△6	△0.6	1,076	0	0.0
	営業利益	25	24	△1	△4.0	26	△2	△8.5
そ の 他	営業収益	548	561	13	2.4	549	11	2.1
	営業利益	26	29	3	11.5	33	△4	△13.7
合 計	営業収益	3,896	3,954	58	1.5	3,686	267	7.3
	営業利益	365	381	16	4.4	301	79	26.5
調 整 額	営業収益	△526	△554	△28	—	△529	△24	—
	営業利益	△5	△11	△6	—	△6	△4	—
連 結 損 益 計 算 書 額 計 上 額	営業収益	3,370	3,400	30	0.9	3,156	243	7.7
	営業利益	360	370	10	2.8	294	75	25.5

◆ 鉄道事業の輸送人員の増加などにより増収

（単位：億円）

	営業収益			営業利益		
	2019年3月期 （5月予想）	2019年3月期 （11月予想）	予想との差異	2019年3月期 （5月予想）	2019年3月期 （11月予想）	予想との差異
交通事業計	1,241	1,242	1	190	190	0
鉄道事業	852	854	2	174	174	0
バス事業	342	343	1	15	16	0
タクシー事業	45	44	△1	0	0	0

<鉄道事業の輸送人員・旅客運輸収入の内訳>

	輸送人員（百万人）				旅客運輸収入（億円）			
	2019年3月期 （5月予想）	2019年3月期 （11月予想）	予想との差異	予想との差異 （%）	2019年3月期 （5月予想）	2019年3月期 （11月予想）	予想との差異	予想との差異 （%）
定期	265	266	0	0.3	315	317	1	0.5
定期外	214	214	0	△0.1	505	505	0	0.0
合計	480	481	0	0.2	821	823	1	0.2

<羽田空港国内線・国際線ターミナル駅合計の輸送人員>

	輸送人員（百万人）			
	2019年3月期 （5月予想）	2019年3月期 （11月予想）	予想との差異	予想との差異 （%）
定期	7	7	0	4.4
定期外	36	36	0	0.5
合計	43	43	0	1.1

<参考：対前年>

（単位：億円）

	営業収益			営業利益		
	2018年3月期 （実績）	2019年3月期 （11月予想）	増減額	2018年3月期 （実績）	2019年3月期 （11月予想）	増減額
交通事業計	1,234	1,242	7	201	190	△11
鉄道事業	850	854	3	178	174	△4
バス事業	339	343	4	23	16	△7
タクシー事業	44	44	0	0	0	0

<鉄道事業の輸送人員・旅客運輸収入の内訳>

	輸送人員（百万人）				旅客運輸収入（億円）			
	2018年3月期 （実績）	2019年3月期 （11月予想）	増減	増減率（%）	2018年3月期 （実績）	2019年3月期 （11月予想）	増減額	増減率（%）
定期	263	266	2	1.0	315	317	2	0.7
定期外	212	214	1	0.8	500	505	4	0.9
合計	476	481	4	0.9	816	823	6	0.9

<羽田空港国内線・国際線ターミナル駅合計の輸送人員>

	輸送人員（百万人）			
	2018年3月期 （実績）	2019年3月期 （11月予想）	増減	増減率（%）
定期	7	7	0	4.4
定期外	35	36	1	3.4
合計	42	43	1	3.5

- ◆ マンション販売が堅調に推移していることなどにより増収増益
- ◆ 不動産賃貸業において、新規子会社の取得にかかる費用の増加などにより減益

(単位：億円)

	営業収益			営業利益		
	2019年3月期 (5月予想)	2019年3月期 (11月予想)	予想との差異	2019年3月期 (5月予想)	2019年3月期 (11月予想)	予想との差異
不動産事業計	666	709	43	66	78	12
不動産販売業	462	501	39	30	44	13
不動産賃貸業	203	207	3	35	34	△1

<参考：対前年>

(単位：億円)

	営業収益			営業利益		
	2018年3月期 (実績)	2019年3月期 (11月予想)	増減額	2018年3月期 (実績)	2019年3月期 (11月予想)	増減額
不動産事業計	470	709	238	△16	78	94
不動産販売業	275	501	226	△70	44	114
不動産賃貸業	194	207	12	53	34	△19

◆ ビジネスホテル業やレジャー関連施設業（競艇場施設業）が好調に推移したことなどにより増収増益

（単位：億円）

	営業収益			営業利益		
	2019年3月期 （5月予想）	2019年3月期 （11月予想）	予想との差異	2019年3月期 （5月予想）	2019年3月期 （11月予想）	予想との差異
レジャー・サービス事業計	359	366	7	58	60	2
ビジネスホテル業	103	105	2	25	25	0
レジャー関連施設業	123	123	0	17	18	1
レジャーその他	132	136	4	14	15	0

<参考：対前年>

（単位：億円）

	営業収益			営業利益		
	2018年3月期 （実績）	2019年3月期 （11月予想）	増減額	2018年3月期 （実績）	2019年3月期 （11月予想）	増減額
レジャー・サービス事業計	355	366	10	56	60	3
ビジネスホテル業	96	105	9	23	25	2
レジャー関連施設業	121	123	1	17	18	0
レジャーその他	137	136	△1	14	15	0

◆ 百貨店業において、減収減益

(単位：億円)

	営業収益			営業利益		
	2019年3月期 (5月予想)	2019年3月期 (11月予想)	予想との差異	2019年3月期 (5月予想)	2019年3月期 (11月予想)	予想との差異
流通事業計	1,082	1,076	△6	25	24	△1
百貨店業	346	339	△6	6	3	△3
ストア業	531	542	10	3	5	2
物品販売業	170	159	△10	11	12	0
流通その他	34	34	0	2	2	0

※ストア業・物品販売業における営業収益の増減は、(株)京急ハウツが(株)京急ストアと合併したことによりセグメント内異動が発生したことによるもの。

＜参考：対前年＞

(単位：億円)

	営業収益			営業利益		
	2018年3月期 (実績)	2019年3月期 (11月予想)	増減額	2018年3月期 (実績)	2019年3月期 (11月予想)	増減額
流通事業計	1,076	1,076	0	26	24	△2
百貨店業	334	339	4	4	3	△1
ストア業	534	542	7	3	5	2
物品販売業	171	159	△11	12	12	0
流通その他	35	34	0	5	2	△3

◆ 請負工事の受注増などにより増収増益

(単位：億円)

	営業収益			営業利益		
	2019年3月期 (5月予想)	2019年3月期 (11月予想)	予想との差異	2019年3月期 (5月予想)	2019年3月期 (11月予想)	予想との差異
そ の 他 計	548	561	13	26	29	3

<参考：対前年>

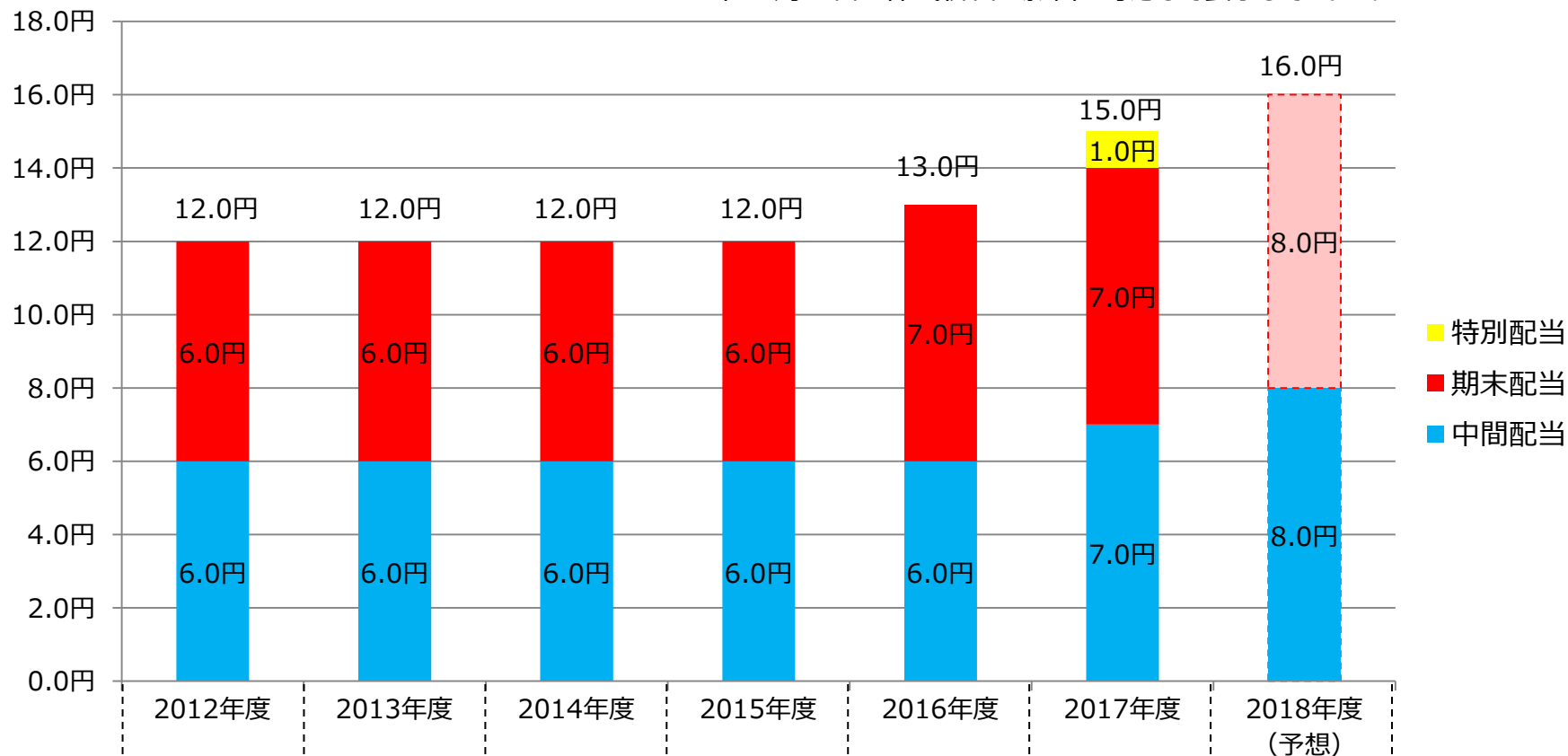
(単位：億円)

	営業収益			営業利益		
	2018年3月期 (実績)	2019年3月期 (11月予想)	増減額	2018年3月期 (実績)	2019年3月期 (11月予想)	増減額
そ の 他 計	549	561	11	33	29	△4

配当方針：安定配当の継続を基本とし、業績や財務状況等を勘案して行う。

◆ 業績を勘案し、配当予想を修正（年間14円→年間16円）

※2017年10月1日の株式併合の影響を考慮して表示しております



配当性向 (連結)	38.9%	35.7%	30.7%	—	15.9%	25.6%	19.6%
-----------	-------	-------	-------	---	-------	-------	-------

KEIKYU

京急グループ

【ご注意】

この資料に記載の情報のうち、過去の事実以外のものは将来の見通しであり、発表時点において想定した各種前提条件を基に作成しております。こうした記載情報は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を含むものです。実際の業績は、様々な要因によって異なる結果となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

【お問い合わせ先】

総務部 統括課 株式・I R担当

TEL 03-3280-9123

MAIL legal@keikyu.co.jp